



細川紙・大河原和紙技術者研究生が
空き家を探しています

東秩父村で培われてきた手漉き和紙技術を継承し、紙漉き職人の後継者となる人材を募集し、また育成・支援するため、平成29年度より3年間、細川紙・大河原和紙技術者研修生支援事業（以下「支援事業」という。）を実施してきました。

令和2年度からは、支援事業を修了した研修生が細川紙技術者協会正会員となることおよび技術向上を目指すことに対し、本村の伝統的な手漉き和紙技術の継承者を育成することを目的とした、細川紙・大河原和紙技術者研修生支援事業を実施しています。

この度、研究生から空き家バンク利用登録申込みがあったため、募集します。下記の条件にあてはまる方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

- ・賃借料については要相談とさせていただきます。
- ・手すき和紙の製造ができる作業場と、可能であれば同敷地に住居があること。
- ・作業場は井戸水が使えること。
- ・紙すきの作業工程（作業による音、煙など）に理解をいただけること。
- ・原材料や製品の保管スペースが取れること。
- ・水回り、ボイラー（もしくは薪）などの設置が必須となるため、改装を許可いただけること。

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230



通電火災にご注意ください

●通電火災とは

自然災害による停電から復旧した際、再通電時に電気機器や電気配線から出火する火災が「通電火災」です。通電火災を防ぐため下記の点にご注意ください。

●通電火災を防ぐためには

- ・停電中は電気機器のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから外しましょう。
- ・停電中に自宅を離れる際は、ブレーカーを落としましょう。
- ・再通電時には、漏水等により電気機器等が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、十分に安全を確認してから電気機器を使用しましょう。
- ・再通電から長時間経過したあと、壁内配線の損傷や電気機器内部の故障により火災に至る場合があるため、発煙等の異常を発見した際は直ちにブレーカーを落とし、消防署へ連絡しましょう。

問合せ 比企広域消防本部 予防課
☎23-2268



ごみの減量化にご協力をお願いします

新型コロナウイルスの影響により自宅で過ごす時間が増えた方が多いと思います。その影響もあり、今年度のごみ排出量が前年の同じ月と比べて1割増となっています。ごみの量はちょっとした手間でその多くを減量することができます。

ワンポイントでごみ減量化！

- ・生ごみは水切りをしましょう！生ごみの約80%は水分です。捨てる前に水切りをお願いします。
- ・小さな紙も資源回収へ！もえるごみの中に紙類が多く入っていませんか？封筒や包装紙、お菓子の箱などは雑誌にはさむか大きめの封筒などに入れ、バラバラにならないようひもで縛って資源回収へ出してください。
- ※洗剤やたばこの箱のようなおいがついた箱はリサイクルできません。
- ※紙コップなどの防水加工がされた紙はリサイクルできません。
- ・プラ製容器は分別を！お惣菜やお弁当などのプラ製容器は汚れを洗い流し、資源プラスチックへ出してください。プラスチックが可燃ごみへ多量に混入することで、ごみ量が増えることのほかにも焼却施設の故障の原因にもなります。

問合せ 保健衛生課 ☎82-1777



新しい生活様式を取り入れましょう

8月下旬現在の状況から、新型コロナウイルス感染症拡大防止について、引き続き対策が必要とみられます。

日頃から感染防止を心掛けることで、自分を守るだけでなく大切な人を守ることにつながります。今はがまんの時期、いつか平穏な日常を取り戻すその日まで、みんなで協力して頑張りましょう。

●パーソナルスペース（社会的距離）を保って過ごしましょう！

- ・最低でも人との距離を1メートル開けることによって、飛沫拡散の影響を軽減することができます。「密」にならないことが大切です。

●うがい・手洗い・消毒を習慣づけましょう！

- ・自分の身体の予防を行うことも大切です。菌をできる限りとり除くことにより、軽微な風邪等の予防もできます。外出先から帰宅した際や、作業等で物に触れる機会があった場合、その都度、うがい・手洗いをして、なおかつアルコール等で消毒をし予防しましょう。

●咳エチケットもできる限り協力を！

残暑のマスク着用は熱中症の危険を伴います。無理をせず、人と話すときなどにマスク着用を心掛けましょう。

問合せ 総務課 ☎82-1221